

942人が新たな一歩

高経大学位記授与式

高 崎

高崎経済大の学位記授与式が26日、高崎市の群馬音楽センターで開かれ、経済、

地域政策両学部と大学院を合わせて942人が新たな一歩を踏み出した。

各学科と大学院研究科の代表者計7人が登壇し、学位記を受け取った写真。写真上。

水口剛学長は式辞で、「学び続ける」「組織の外にネットワークをつくる」「地域や社会の課題解決に向けて自ら動く」の三つのアドバイスを贈り、「社会の変化に受け身的に対応するだけでなく、より良い未来を創ってほしい」と期待した。

卒業する学部生がコロナ禍で入学式が行われなかった学年である



ことから、式典後、大学生活を写真で振り返るスライドショーなど、在学生が考案したイベントを実施した。

(多田素生)



商店街で卒業祝い

高崎中部名店街(矢嶋伸也理事長)は26日、地域活性化に尽力した高崎経済大生の卒業を祝う「まちなか卒業式」を高崎市鞆町のcafeあすなろで開いた。約20人に感謝状を贈った写真下。

まちなか卒業式は、同名店街を会場とする「熱血!高校生販売甲子園」と、あすなろの企画運営に携わった2団体の学生に感謝を伝えようと、毎年開いている。

販売甲子園の実行委員長を務めた山谷孟央さん(22)は感謝状を受け取り「いろいろな人と関わることででき、成長できた」と振り返った。あすなろ元代表の徳田康生さん(22)は「あすなろが唯一、大学生らしくいられた場所。支え、見守ってくれた皆さんに感謝している」と述べた。(丸山朱理)